

人間性心理学研究

第38巻 第1号 2020年

日本人間性心理学会

特集1: 第13回学会賞シンポジウム「未来を紡ぐ人間関係研究会の歩み」

序文	松本 剛	1
シンポジウム 2019	畠瀬直子	5
時代の変化とエンカウンター・グループ、そして変わらぬもの		
—人間関係研究会第二世代として—	高松 里	7
エンカウンター・グループの今後の展開に向けて	本山智敬	15
他者と出会うこと—エンカウンター・グループの持続する時間—	森岡正芳	23

研究論文

Narrative Process Coding Systemによる心理療法のプロセス研究		
—試行カウンセリング単一事例のナラティブ分析—	小泉 誠	29
Bion理論のパーソン・センタード・アプローチにおける可能性		
—Gendlin理論との関連から—	久羽 康	41
ひきこもり支援モデル作成のための基礎研究		
—支援団体および支援者への調査から—	中地展生・山口祐子	53

特集2: 人間性心理学とグループ

グループと人間性心理学	三國牧子	65
Tグループを中心としたラボラトリー方式の体験学習	楠本和彦	71
集団による社会性の生成—「ヨコ体験グループ」の実践—	池田豊應	79
「学校」という共同体—不登校生の自立を支援する西濃学園の集団作り—	太田宣子	89
初期仏教の比丘出家修行における集団の機能—「無関心のなかで生きる」ということ—	石川勇一	97

人間性心理学の発想

現実に即応した包括的コミュニケーション論を目論む	福井康之	113
--------------------------	------	-----

書 評

稲垣応顕・坂井祐円 編著		
『スクールカウンセラーのピリフとアクティビティ—児童生徒・保護者・教師とどう関わるか—』	大島利伸	117
藤井真樹 著		
『他者と「共にある」とはということか—実感としての「つながり」—』	村本詔司	123

学会報告

会務報告／投稿規程等		127
------------	--	-----

編集後記

		137
--	--	-----

